

まちづくり懇談会 東野

日時：平成 30 年 9 月 21 日（金）午後 7 時～8 時 30 分

場所：東野コミュニティセンター

4. 「はたらく」「たべる」「くらす」の政策について

■企画部長 この地域の自治体の取り組みを紹介する。本来なら地域自治体から説明頂くところだが代わって私が説明するので、内容的にあまり細かいところには踏み込めないで、ご了承頂きたい。

恵那市では第 2 次総合計画として平成 28 年度から 37 年度の 10 カ年計画があり、この総合計画に合わせて、地域版の総合計画として平成 27 年度に 13 地域自治体ごとに地域計画を策定し、それぞれの特徴を生かしたまちづくりをして頂いている。そのために必要になる事業の実施については、地域のまちづくり補助金を用意して活用して頂いている。今年度東野は 2 事業で 95 万円の交付決定をしている。その補助金のほかに、ほぼ均等割で 130 万円を自治体に交付金の形で、特に用途を制限せず交付して、合わせて 225 万円で事業を実施して頂いている。

東野地域計画のキャッチフレーズを定めて頂いている。「明るく元気なまち東野」。これを目指して、計画の柱として、1. 人と地域をみんなで結ぶ、2. 歴史・文化を伝え育む、3. 自然を生かして暮らしを守る、これに沿って事業を実施して頂いている。

計画の柱 1・2・3 に共通する事業。東野ふるさと次世代育成事業。実施団体は東野青少年育成会議、飯沼川を通じて郷土愛を育てる会。マスつかみ、河川整備を実施している。

計画の柱 1・2・3 に共通する事業。東野ほたる祭り。東野青少年育成会議がカワニナの育成、放流。6 月 15 日に実施された実行委員会主催のほたる祭り。今年のテーマは自然の不思議再発見。

計画の柱 1・2・3 に共通する事業。東野納涼夏祭り。東野ふれあい音楽祭。これもそれぞれ実行委員会が主催している。

計画の柱 1・2 にかかわる事業。地域伝統文化保存継承事業、東野歌舞伎。10 月 28 日に今年度も予定されている。実施団体は東野歌舞伎保存会、小学校の子ども歌舞伎クラブ、東野文化祭実行委員会。

計画の柱 1・2 にかかわる事業。東野ひとづくりこども教室。実施団体は東野ひとづくりこども教室。内容は夏休みの子ども教室。今年は 7 日にわたって開催し、述べ 201 人の参加があった。

計画の柱に該当する事業。東野青少年育成事業。実施団体は青少年育成会議。さまざまな青少年の育成活動として、新春餅つき大会、新春書き初め展。

計画の柱 1・3。東野地域防犯パトロール。実施団体は自治連合会ほか 11 団体。これも長年活動されてきた成果で、平成 28 年には恵那防犯協会から表彰されている。今年は県の防犯協会から表彰される予定だと聞く。こういう活動は重要なので引き続き行って頂きたい。

全体的な感想として、補助金はあまり多く受けていないが非常にバランスよく事業実施している。引き続き丸山会長の下、地域づくりに励んで頂き、冒頭に申し上げた地域計画のキャッチフレーズにある「明るく元気なまち東野」を目指してまちづくりを実行して頂きたい。

■市長 東野の状況と事業等について。

人口はほとんど横ばい。若干減っている。世帯は増えている。今は何とか良い推移をしていると言える。恵那市全体の人口推移を見ると、平成 17 年を 100 としたときに-10%。東野は上から 2 つ目の-5.4%。大井に次いで減少幅が少ない。原因は幾つかある。東野のまちの規模が良く、息子さんとお嫁さんが同居しているとか、同じ敷地に別棟を建てて住んでいるとか、白坂でも毎年新築物件が 1、2 軒ある。これをプラスに持っていけると良いと思うので頑張っていきたい。

子どもの数は年によって凸凹している。昨年生まれたのは 12 人。その前の年が 7 人。ちょっと気にして頂いて東野で住んで頂きたい。皆様が気にして頂くだけでも大分変わる。割合。平成 17 年に 14 人生まれ、増えたり減ったりして今は 12 人。方向は見えないが、恵那市全体としては減っているので、東野は頑張りどころだと思う。今年と平成 35 年の子どもの数。東野小学校は今 86 人、35 年には 78 人でほぼ変わらない。東中学校は大井と一緒にいる。458 人が 5 年後 396 人になる。

学童保育所の事業によりやく取り掛かることが出来た。来年 4 月からは学校の中に入って頂くが今年度はみどり館で通年出来るようになっている。エアコンの設置、電気、水回りの工事をする。

このコミュニティセンターの改修もする。LED、機械の更新で今年 5 千万円の工事を予定。表の舗装も一部直す。

道上林道の舗装。事業費 800 万。300m ぐらいの予定。

市道の舗装修繕。清水白坂線の踏切から上がっていった途中のところ、140m、900 万円。総合庁舎の横の岡瀬沢の方に下りる道、100 万円。浜井場山の寺線の長谷川病院の近くの舗装、100m で 900 万円。地域で要望頂いた箇所について行わせて頂く。

地籍は花無山辺りに 25 年から取り組んでいる。30 年 9 月末で登記の完了で事業として終了する。引き続き要望が出ているのは白坂の区域で、31 年度からの着手の予定。

この地域には有限会社東野がある。耕作放棄地は大きなテーマだがこれに先進的な取り組みをしてきている。12名の従業員で経営面積16ha。毎年52a、73a、平成30年は51aの耕作放棄地を解消して頂いている。このように再生して頂いている。恵那市の中でも、岐阜県の中でも、まれな事例。ぜひ気にしてほしい。

東野には観光の大きな目玉がある。一つは阿木川ダム。フレンドリーさんが一生懸命行ってくれている。17年から活動を開始し、22年からNPOを作られた。五平餅、ダムカレー等に取り組んでいる。もう一つは恵那山荘。25年に岐阜県から恵那市に移譲された。10年は必ず行くと約束している。市も応援しているので何とか行って頂きたい。ぜひ利用してほしい。

L1ラリー。観戦エリアが決まった。場所は恵那山荘。東野から上がってきてキャンプ場を通り過ぎ、保古の湖の堰堤を過ぎて急カーブ、恵那山荘の前から郷土館までがゴール。山荘前とその反対側、キャンプ場の駐車場とその反対側が観戦エリアになる。ここで五平餅を売るとか何か行って頂いても良いし、色々な催しをして盛り上げてくれると嬉しい。L1のときは下から上がってくる。WRCの世界選手権のときは逆に下ることになると聞く。楽しみにしてほしい。

魅力。一つは保古の湖のキャンプ場。保古の湖。どんど焼き。こういう良い観光地がある。もう一つは、保古用水。風穴。五輪の塔。保古用水。保古用水は恵那峡のダムの建設と同じタイミングで大正11、2年に造られたと思う。当時としては、恵那峡で大工事が国家的プロジェクトであり、こちらでも保古の湖の堤体を造り、大規模な工事をされたと聞いている。その頃は恵那市全体が大変元気だった。今年も、これからリニアに向けても、恵那市の辺りは元気になっていきたいのが私の願いです。

5. 意見交換

■市民1 東野の開発について。先日の自治会長会議で、振興会長から、坂本にリニア駅が出来ることが決まり、正家地区では区画整理事業が進んでいる。東野でもまちづくりの勉強会を始めたかどうかという提案があった。その場では異論がなかったので、今後開催されると思う。東野は大井、長島の市街地に隣接する田園地帯で比較的住みやすいところだと思うが、近年高齢化と後継者がいないために農業が出来ない世帯が増えている。そういうところは担い手農家に作業を委託するか、有限会社東野とか長島の民田農園に農地を貸して維持するしかない。受け手も一杯一杯だと感じる。今後さらに耕作放棄地が増えると予想される。先祖から受け継いだ農地を維持するのは大事なことだが、農業を自分で完結することがだんだん難しくなっている。東野としても住宅地や商業地のエリア、農業地のエリアというように土地を有効に活用出来るような開発を考える時期に来ていると思う。シクラメン街道を整備して頂いたおかげで大変便利になった。通行する車も増えてい

る。隣接する正家地区では区画整理が進み 1 年後にはあの辺一帯も大きく変わる。東野も何とか開発出来たら良いと思う。今後東野地区として都市開発に進行する可能性があるか聞きたい。

■市長 昨年もこの話が出た。私は白坂に住んでいる。白坂は人口が増えている。世帯も増えている。それは、家が建つ場所があるからで、これは大事なこと。東野は人口が減っていないがこのままで良いのではない。色々整理していく必要がある。建設部と話をして、来年調査費用を計上しようと思う。勉強会を開催予定ということだが、今年度どの辺まで出来そうなところを決めて頂き、市も関わらせて頂くので、来年に向けて準備をして頂きたい。

地元出身の建設部長から話をする。

■建設部長 恵那市の中でも東野の位置は期待される地域だと行政でも思っている。地元からこういった声が上がるということは地元の熱意が行政に伝わってきたということ。具体的な検討に入る時期になったと思うので来年度調査を進めたい。具体的な地域については、丸山振興会長から提案も受けているが、地域の皆さんの意思が一番大事なので、そこを今年度中に、千藤市議にも入って頂いて進めていきたいのでご協力をお願いします。

■市民 2 保古用水を永久に残すためには今少し悪いと思う。何とか道を拓いてもらい、管理道路を造れば良い。その考えはあるか。

もう一点、農政について。白坂地区にイノシシが多く出る。保古用水の畔にイノシシ除け、シカ除けを併設すれば、向こうから来るのが少なくなって、その後は天王前の方から降りてくるイノシシを何とかしていけば、東野地区は若干百姓もやりやすくなると思う。それを考えているか。

■市長 地元でまず検討して頂き、どんなことなら出来そうかという具体的な詰めをして頂き、市としてこんなことは出来ないかと話を寄せて頂きたい。決して出来なくはないが、費用もかかり、地元負担も出てくるかもしれない。丁寧にやりたい。

■市民 3 恵那市は人口減少がかなり言われている。まちコンや、石川農園がトマコンと言って農家に嫁さんをとということで行われているが、女性の希望も色々あるし、話を聞くと男性の話術が下手だとか、山がどれだけで牛が何頭でトラクターが何馬力という話で済んでしまう。もうちょっとまちコンでも伴侶になる人に気を引いてもらえるような教育をしてもらいたい。動物でもすごくアピールする。すばらしいという希望の持てるような対応をさせるようにしないとなかなか女の人は付いてこないと思う。その辺も市長も上手に指導出来ると思うが、とにかく人口減少を減らすには、伴侶が出来るように上手に行政から男性を指導して魅力のある男性にしてほしい。

■市長 人口減少で一番大事なのは結婚して頂くこと。住んでほしい、子どもを作ってほしい、結婚してほしい。市が税金を使ってまで婚活パーティーのサポートをしている。男性の指導はどこまで出来るか分からないが、婚活や子どもを産み育てられるような仕組み作りも考えていきたい。

6. 市長お礼のあいさつ

■市長 活発にご意見を頂きありがとうございました。私、地元とはいえ大変緊張しておりましたが、無事に皆さんに聞いて頂けて本当に嬉しく思っている。昨年よりも少しは私も成長出来たと思っている。皆様からの御指導、御助言を頂きたい。また、今日以外でも何かあれば、私ども直接でも良いし、振興事務所に伝えて頂ければ必ず目を通し、出来ることは行いたい。地元には千藤議員がいるので伝えて頂き、皆さんと話をしていきたい。

■地域自治区副会長 本日は大変お忙しい中多くの方に集まって頂きありがとうございました。意見は今後のまちづくりに反映していきたい。

市長、副市長、部長、市議、関係者の皆さん、ありがとうございました。今後東野が発展していくためには、皆さん方が心一つにして新しいまちづくりに取り組んでいくことが大切だと思っています。今後も御指導御支援よろしくお願ひいたします。

■司会 長時間ありがとうございました。

[閉 会]